

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施結果報告

(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
1	黒部市総合戦略策定事業	基礎交付	4,400,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤						総合戦略のKPI達成に有効であった	・PDCAサイクルを確実に回していくことが重要である。	事業内容の見直し(改善)	社会情勢の変化や施策の効果等に応じて、必要な見直しを行う。
2	本社機能移転事業所設置助成金	基礎交付	1,800,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	本社機能移転に向けた協議件数	2	件	H28年3月	2	地方創生に非常に効果的であった	・縁故企業以外の県外企業誘致が必要。 ・人口の社会減に対応するための有効な事業であり、継続されることを期待する。	事業の継続	今後も効果が見込まれるため、事業を継続する。
3	北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅における乗降客数	基礎交付	9,111,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅における乗降客数	2,700	人	H28年3月	2,604	地方創生に相当程度効果があった	・数値目標自体は未達だが、地方創生のためには必要な事業であり、数値目標を達成するための事業内容の工夫が必要。 ・季節感あるPRを続けるべき。	事業内容の見直し(改善)	黒部の魅力を地道かつ効果的にPRするプロモーション事業を民間団体主導で実施する。
4	黒部ブランド再生事業	基礎交付	1,800,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	黒部ブランドの再生に向けた候補品目リストアップ数	100	品目	H28年3月	73	地方創生に相当程度効果があった	・県外サポーターによるSNSを活用した情報発信を行うなど、もっと人知ってもらう必要がある。 ・地方創生には必要な事業であり、数値目標を達成するまで事業を継続すべき。	事業の継続	今後も効果が見込まれるため、事業を継続する。
5	特定商業地域出店事業補助金	基礎交付	3,800,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	新規出店に向けた相談件数	10	件	H28年3月	9	地方創生に相当程度効果があった	・補助実績を広く市民に周知すべき。それにより、出店者の経営支援と次なる出店者の掘り起しが期待される。 ・事業の波及効果を期待する。 ・地方創生には必要な事業であり、数値目標の拡充も視野に入れ、事業を継続すべき。	事業の継続	今後も効果が見込まれるため、事業を継続する。
6	食味測定器導入助成事業	基礎交付	1,800,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	食味値データサンプル数	600	サンプル	H28年3月	777	地方創生に非常に効果的であった	・当該事業の効果が、黒部ブランド再生事業等の他事業への好影響を与えることを期待する。	予定通り事業終了	必要な台数の食味測定器導入が完了したので事業を終了する。今後は、食味の良いものには価格差をつけるなど、品質向上へのインセンティブをさらに高める。
7	黒部米ブランド産地強化対策事業	基礎交付	9,419,231	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	堆きゅう肥・土壌改良資材の投入ほ場面積	1,800	ha	H28年3月	1,548.2	地方創生に相当程度効果があった	・稲作は農業の中心であり、かつ、地域ブランドの向上にも寄与するものであり、事業の継続が必要。 ・黒部米ブランドを強化するためには、産地強化だけではなく、ストーリーを持った販売が必要。	事業の継続	今後も効果が見込まれるため、市単独事業として事業を継続する予定。
8	コンベンション開催支援補助金	基礎交付	1,980,769	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	コンベンション開催による県外からの誘客者数	1,500	人	H28年3月	1,220	地方創生に相当程度効果があった	・数値目標自体は未達だが、地方創生の観点からは即効性があり、かつ新幹線開業効果を維持・拡大するためにも有効なため、事業を継続すべき。 ・おもてなしの充実等により、リピーターを増やすところまで効果が拡大することを期待する。	事業の継続	コンベンション開催支援が地域活性化につながると見込まれるため、事業を継続する予定。
9	映画等ロケーション支援補助金	基礎交付	1,800,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	ロケ地として黒部を掲載したマスコミ等の件数	50	件	H28年3月	30	地方創生に効果があった	・数値目標は未達だが、地域ブランドの向上には大きく貢献したと考えられる。 ・観光資源として有効活用することを期待する。	予定通り事業終了	ロケ支援は予定通り終了する。今後は、この映画とロケ地を本市の観光資源として、活用する。
10	宇奈月温泉街再生活動支援事業	基礎交付	1,800,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	宇奈月温泉街再生・活性化試験プログラムへの参加者数	160	人	H28年3月	150	地方創生に相当程度効果があった	・地方創生には不可欠であり、かつ新幹線開業効果を維持・拡大するためにも、事業を継続すべき。 ・宿泊客の誘客だけでなく、市内や県内からの日帰り客をターゲットにした事業も検討すべき。	事業の継続	今後も効果が見込まれるため、事業を継続する。
11	低速8輪電気自動車を活用した山岳・温泉エコリゾート構想の推進	タイプI	35,000,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	宇奈月温泉年間宿泊者数 コミュニティ・クルマEMU(エム)年間乗車人員	350,000 10,000	人 人	H28年3月 H28年3月	335,198 10,332	地方創生に相当程度効果があった	・地域ブランドの向上に大きく寄与するとともに、宇奈月温泉街再生活動支援事業とも相まって、更なる効果が生まれるような工夫を期待する。 ・更なる効果を生むため、温泉街の見どころを増やすことが望まれる。	事業の継続	今後も効果が見込まれるため、事業を継続する。
12	バス交通ネットワーク再編事業	タイプII	5,300,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	バス・コミュニティ交通利用者数	3,500	人	H28年3月	2,708	地方創生に相当程度効果があった	・地方創生のためには必要な事業であり、数値目標を達成するための事業内容の工夫が必要である。 ・利用者を増やすための工夫が必要。	事業内容の見直し(改善)	運行ルート、バス停、ダイヤの見直しを行い、さらなる利便性の向上及び利用者の増加を図る。
13	北陸新幹線開業観光キャンペーン等事業	タイプII	2,200,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	関東方面からの宇奈月温泉宿泊者数	61,000	人	H28年3月	105,089	地方創生に非常に効果的であった	・地方創生のためには大きな効果があったと考える。 ・相当の誘客効果が認められたため、今後も誘客力のあるキャンペーンを展開すべき。	予定通り事業終了	事業は終了したが、新幹線開業効果持続のため、今後も誘客に繋がるイベントを利用する予定。
14	宇奈月温泉再生活動支援事業	タイプII	2,000,000	指標① 指標② 指標③ 指標④ 指標⑤	宇奈月温泉宿泊者数	260,000	人	H28年3月	335,198	地方創生に非常に効果的であった	・地方創生には不可欠であり、かつ新幹線開業効果を維持・拡大するためにも、事業を継続すべき。 ・宿泊客の誘客だけでなく、市内や県内からの日帰り客をターゲットにした事業も検討すべき。	事業の継続	今後も効果が見込まれるため、事業を継続する。